



# 下和泉小だより

横浜市立下和泉小学校

校長 品川 仁美

始業式、入学式から1か月が経ちました。登校時には、元気なあいさつが響いています。

日によっては真夏を思わせる暑い日もありますが、学校にも通学路には矢車草やサクラソウなどの花が美しく咲き、目を楽しませてくれます。日も長くなり、外で元気に遊ぶ機会も増えたことと思います。

来週からいよいよ連休です。ちょうど読書週間の時期でもあります。本に親しんでみましょう。様々なイベントに参加したり、旅行に出かけたりと見識を深めるよい機会でもあります。有意義に過ごしてもらいたいと思います。

一方で気持ちが高揚し、注意が散漫になることで、思いがけないけがや事故につながることもあります。暖かくなるこの時期、水の事故も増えてきます。安全に気を付け、楽しく過ごしましょう。

また、交通事故にも注意が必要です。春休み中には、お隣の戸塚区で小学生が車にはねられるという、痛ましい事故がありました。被害にあわれたお子様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。本校では、4月22日に1・4年生が交通安全教室を行いました。正しい歩行の仕方や、死角について学習しました。

政府広報オンラインのホームページには、子どもの交通事故についての統計や事故防止のために気を付けることが掲載されていますので、内容の一部と URL をお知らせいたします。

(政府広報オンライン:<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201804/1.html>)

子どもの交通事故は小学1年生が最も多く、6年生の2.5倍にのぼります。1年生は、一人歩きも始めたばかりの1年生です。また、子どもの事故で一番多いのは、歩行中の事故なのですが、小学生になると、登下校や放課後に、子どもだけで歩く機会が増えます。ご家庭でも安全な歩行の仕方や、横断歩道の渡り方などを実際に保護者の方と歩くときに、伝えていただきたいものです。

連休中は、旅先の慣れない道や踏切事故等のニュースを目にすることも多いように感じます。お子さんが一人きりにならないよう、目配りを忘れないように気を付け、安全に、楽しく連休を過ごしましょう。

連休明けに、元気な笑顔の皆さんと会うのを楽しみにしています。

2026年・第68回こどもの読書週間 標語

ことばがきみのはねになる

## 4月23日～5月12日は子ども読書週間です

「こどもの読書週間」は、子ども達に「もっと本をもっと本を読む場所を」との願いから、1959年(昭和34年)に誕生しました。当初は、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日から14日)でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受け、「子ども読書年」である2000年より、現在の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)から、期間を延長し、全国の出版社、取次店、書店、図書館等の団体でつくられる「読書推進運動協議会」が運動を進めています。